

令和4年度 第1回資料館学芸委員会

開催日時	令和4年7月28日（木） 開会時刻 午前9時30分 閉会時刻 午前11時
開催場所	丸亀市立資料館2階ギャラリー
出席者	出席 学芸委員 田中 健二 委員長 國越 孝子 副委員長 川元 紀恵 委員 信原 清 委員 泉 政博 委員 事務局 教育部長 七座 武史 文化財保存活用課長 東 信男 資料館長 大北 知美 香川 章栄 矢野 浩三
議 題	（1） 令和3年度資料館事業報告について （2） 令和4年度資料館事業について （3） 今後の資料館の事業展開等について （4） その他
傍聴者	無

発言者	発 言 要 旨
	【開 会】
教育部長	【あいさつ】
委員長	【あいさつ】
事務局	【会議の成立】 過半数を超える出席により会議成立
委員長	それでは、議題第 1 号「令和 3 年度資料館事業報告について」説明をお願いします。
事務局	議題第 1 号 令和 3 年度 資料館事業報告について説明します。 最初に、令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和 2 年度同様、さまざまな事業の日程や内容に、変更が生じたことをお伝えいたします。 まず、5 月のお城祭りが中止となり、それにともない丸亀市文化協会の市民展も中止となりました。さらに、香川県の警戒レベルの引き上げに準じ、5 月 11 日より 30 日までと、8 月 11 日より 9 月 30 日までの 2 回、臨時休館となりました。 それではまず【1 階企画展示室】の展示状況についてですが、7 月 17 日から 8 月 10 日まで、「ハレの日を祝う-婚礼衣装と嫁入り道具を中心に-」を開催しました。この展覧会は、館蔵品から大正、昭和の婚礼衣装や嫁入り道具、ハレの日に関わる絵画や調度品などを展示しました。8 月 11 日より臨時休館となり、21 日間で女性を中心に 1,072 人の方が来館されました。 次に、10 月 16 日から 11 月 21 日まで、「名刀見参-京極家の宝刀ニッカリ青江公開-」を開催しました。この展覧会は、令和 2 年度から延期されていた展覧会です。展覧会では、日本美術刀剣保存協会四国讃岐支部の協力のもと、京極家のニッカリ青江をはじめ、鎌倉時代から明治までの名刀や刀装具の名品を展示しました。有料展覧会で、観覧料は一般 600 円（18 歳～64 歳まで）とし、内 100 円を石垣の復旧のための「がんばれ丸亀城応援募金」に充てました。なお、ニッカリ青江のファンの皆様に喜んでいただけるように、オリジナルのニッカリ青江お守りを作

成しました。お守り袋の中にはニッカリの手入れ時に使用した布を入れて、2,000 部限定のシリアルナンバーを記載しました。販売については、丸亀市観光協会に委託して、1000 個はホテル宿泊とのセット販売、残り 1000 個は城内の売店で一日の販売数を限定して、販売しました。大変好評で、完売いたしました。

会期中は感染症対策に留意し、全国から刀剣ファンの方が連日多く来られ、33 日の会期で入館者数は 11,079 人となりました。令和 3 年度の企画展示室の入館者総数は 12,151 人となりました。

次に【2 階 常設展示室】の展示状況です。引き続き常設展として「生駒・山崎・京極の歴史と文化展」を開催し、城郭資料館としての機能を果たしました。開催日数は 231 日で入館者数 8,922 人でした。

また、常設ミニ企画として、一部コーナーの展示替えを 5 回行いました。展覧会名は資料の通りです。定期的に資料を入れ替え、何度でも資料館に訪れていただけるよう、常設展示の充実を図りました。

【2 階 ギャラリー】の利用状況については、「名刀見参」展の会期中、企画展と関連してオンラインゲーム刀剣乱舞のキャラクター、刀剣男士につかり青江の等身大パネルやイラストなどを設置しました。33 日間で 5,326 名の入場者となりました。

つづきまして【民具展示場、1 階および 2 階ロビー】の展示状況について説明します。2 階ロビーでは 4 月から 10 月にかけて、城西小学校 4 年生が校外学習で、石垣復旧工事の現場や丸亀城の歴史について学んだ内容をまとめた「令和 2 年度城西小 4 年生 校外学習成果の展示」を行いました。また 1 階ロビーでは 1 月から 3 月にかけて「令和 3 年度城西小 4 年生 校外学習成果の展示」を行いました。なお 3 月 22 日からは、追加発表として、小学校で制作された成果発表の映像を大型テレビで放映しました。

屋外の民具展示場は、昨年同様の展示でした。

なお、資料には【参考】としまして、平成 30 年度からの入館者数推移を記載しております。令和 3 年度の資料館の総入館者数は 26,399 人で、前年度とくらべて、約 11,400 人増加しました。これは新型コロナウイルス感染症が流行する前に近い数値であります。臨時休館の影響が避けられない中、ニッカリ青江公開の効果があったと思われます。

【資料整備状況】でございますが、収蔵資料は令和 3 年度末で 2,677 点増加し、38,989 点となりました。新しく収蔵された主な資料は、旧飯山町の所蔵で飯山郷土資料室にあった民具資料や広島尾上家文書などです。

なお購入した資料は、京極家の家臣の帳簿である京極家分限帳、井上

	通女の書簡、和歌などです。今後、資料整理を進め、歴史資料として有効に活用できるよう整備してまいります。 最後に【資料の特別利用・レファレンス件数】についてです。資料の閲覧・撮影・館外資料貸出等特別利用は 69 件、問い合わせに対する回答（郷土の歴史や考古等）は、95 件、合計 164 件でした。 レファレンスの内容は、多岐にわたり時間もかかることから少ない人員で苦慮しているところです。しかし、資料館は生涯学習の一助としての役割もあるので、今後も丁寧に対応してまいりたいと思います。 令和 3 年度資料館事業報告については以上です。
委員長	議題第 1 号について、質問、ご意見はありますか。 私から 1 ついいですか。総入館者数が以前に近い数値になっていますね。一昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で休館が続き、かなり来館者数が減っていて、昨年度も休館があったにもかかわらず、来館者数が戻っているのはなぜですか。
事務局	昨年のニッカリ青江公開時の 10 月から 11 月は新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いていたので、全国から多くの方が来られたからです。
委員長	企画展開催のタイミングがよかったのですね。企画展の場合、これからも感染状況を見ながら計画するといいですね。
委員長	いかがでしょうか。ご自由に発言お願いします。
委員	コロナ禍で大変な時に、その対策などで手間が増えていたことと思われます。それにもかかわらず、これだけの事業をされてとても感謝しております。
委員長	もう一点私の方から、資料の特別利用、レファレンスに関する事について質問します。現在、国立公文書館や国立国会図書館がオープンになってきて、デジタル化を推進し、どこからでも資料を閲覧できるようなシステムを導入しています。こちらの資料館は利用者に来てもらって、閲覧等のサービスをしているのですね。今後インターネットにあげる予定はないのですか。
事務局	資料の閲覧については、来館してもらっております。デジタル化につい

	ては、現在少しずつではありますが、利用頻度の高い資料から撮影を進め、画像のデータ化を進めている段階です。
委員長	それは、来館してもらって CD など画像を見てもらっているのですか。
事務局	今のところは、パソコン上で資料の画像を閲覧するという形式をとっておらず、現物資料を閲覧してもらっています。将来的には、画像データを閲覧できるように進めていきたいと考えています。現物資料の閲覧の理由として、郷土史の研究者の方は、年配の方が多くパソコンの利用に不慣れなので、現物の閲覧を希望する人が多いからです。画像データ利用については、個人ではなく他の資料館や博物館への提供が多いのが現状です。
委員長	私は他の博物館等の機関にも携わっておりまして、そこではホームページに画像をあげるとアクセスが増加したようです。特に企画展の画像をあげると、効果があったと伺っていて、需要があることを感じました。来館できない人へのサービスにもなりますね。
事務局	先ほど部長があいさつの中でふれたように、昨年の 2 回の企画展は、動画を市のホームページで紹介しており、名刀見参展については、現在約 4000 回のアクセス数となっています。
委員長	ホームページで展覧会の動画を提供するのは、資料館に足を運ばなくても、自宅で見ることができるので、この方面は力を入れてほしい。
事務局	わかりました。
委員長	他にご意見ありませんか。それでは議題第 2 号令和 4 年度資料館事業について、説明をお願いします。
事務局	議題第 2 号、令和 4 年度 資料館事業について説明いたします。まず、5 月 3 日、4 日のお城祭りにともなう市民展は、今年度は開催することができました。次に企画展に関してですが、本年は資料館開館 50 周年記念ということで、通常 2 回の企画展を 3 回開催いたします。 1 階企画展示室では、7 月 23 日より開催している「資料館 50 年のあゆみ」を 9 月 4 日まで行います。この展覧会では、これまで開催した約

委員長	300 回の企画展を、資料や展示風景写真などで紹介しています。また、展覧会に合わせて資料館の変遷を振り返る子ども向けの動画を新たに作成し、ロビーで放映するとともに、丸亀市のユーチューブチャンネルで公開しています。 先日の 24 日には、丸亀市観光協会が行った城内イベント「ライブ イン ピース マルガメ」の中の関連行事として、子どもを対象に記念動画内で質問したクイズの正解者に、オリジナルクリアファイルをプレゼントしました。好評だったので、クリアファイルは会期中引き続き、子どもにプレゼントします。また会期中、今後の資料館運営の参考として、来館者の方へアンケートをとっています。 次に 10 月 15 日から 11 月 23 日まで、「丸亀城と城下町」展を開催する予定です。この展覧会では、丸亀城の構造や変遷について資料で紹介するとともに、絵図、古文書、発掘資料等から城下町の移り変わりをたどります。会期中ロビーで泉学芸委員に協力いただき、現存 12 天守の模型展を開催します。 また、キッズウィークには、丸亀市観光協会の城内イベントの一環として、丸亀城をかたどったメモ帳を子ども対象にプレゼントする予定です。クリアファイルやメモ帳の作製には、今年開設 70 周年を迎えるボートレースまるがめに協賛をいただきました。 なお 10 月 15 日は、午前 9 時 30 分より、開館 50 周年の記念セレモニーを 1 階ロビーにて執り行う予定ですので、ご都合がつきましたら、委員の皆様、是非ご参加お願いいたします。 最後に 1 月 14 日から 2 月 19 日まで、「表装の美」展を開催します。こちらは絵画の保護とともに、作品の美しさを引き出す表装を、横山大観、竹内栖鳳など近代日本の中央画壇で活躍した画家や、郷土の画家の作品を通して紹介します。 次に講演会ですが、「丸亀城と城下町」展の会期中である 11 月 12 日に、NHK 大河ドラマ鎌倉殿の 13 人で、建物の時代考証をされている広島大学名誉教授 三浦正幸先生をお招きして、丸亀城をテーマに、記念歴史講演会を開催する予定にしております。場所は市役所横のマルタスの 1 階です。 令和 4 年度の資料館事業の予定は以上でございます。なお、泉委員が作られた現存天守のうち、丸亀城と松江城を用意しましたので、ご覧ください。 【模型の鑑賞】 せっかくですので、泉委員少しご説明お願いします。
------------	--

委員	これらは、150 分の 1 の模型です。昔から模型を作るのが好きで、現存 12 城の天守は全て作りました。全て木でできていて、模型なのでデフォルメせざるを得ない部分はありましたが、大きさや形は表現できたと思います。丸亀城の場合、現在の植生を参考に木も真似て作りました。 姫路城は相当時間がかかり、どこまで手を入れるかはあったのですが、漆喰の白さを出すのに苦労しました。今回展示するかどうかは、分かりませんが、5 年後に復元が始まるということで首里城も作りました。 私の方こそ、展示できるチャンスをいただき、感謝しております。
委員	石垣は難しかったとでしょう。
委員	石垣は、一つ一つ木片を貼ったのでとても苦労しました。石の積み方である切り込みハギまでは表現できなかったが、雰囲気は出ていると思います。1 城作るのに、約 2 か月掛かりました。
委員	とても立派ですね。
委員	模型なので実際と違うところがあり、自分で改造したところもあります。正確な模型については、市に作ってもらいたいと思います。最終的には市に寄贈することも考えております。
事務局	ありがとうございます。
委員長	議題第 2 号について他に、意見はありませんか。 それでは、議題第 3 号今後の資料館の事業展開等について、に移ります。
事務局	資料館はおかげをもちまして、今年度開館 50 周年の節目の年を迎えることができました。これも資料館の運営にご協力いただいている学芸委員の皆様をはじめ、多くの方々のおかげであると、心より感謝しております。 この節目は、これからの資料館の在り方について考える時期でもあります。近年、世界情勢は目まぐるしく変化しており、今後の資料館運営についても、さまざまに展開していくことが予測されます。将来の資料館のあるべき姿や目指す方向について、ご意見、ご希望等ございましたら、よろしくお願いいたします。

委員長	先ほど申したとおり、館蔵品のデジタル化を進めるべきだと思います。資料館に来ることができない人、ひいては日本各地からアクセスできるので、対応が広がります。 お城の復元が見えるシステムはありましたか。
事務局	丸亀城の AR、VR はあります。
教育部長	アプリを入れるとスマートフォンで見ることができます。
事務局	【スマートフォンで説明】
委員長	最初に作ればずっと使えるし、楽しいので子どもは喜ぶですね。
教育部長	石垣復旧 PR 館には、ゴーグルをつけて、立体的に見ることができる装置があり、子どもに人気です。
委員長	いいですね。 他に、資料館の在り方について、何か意見はありませんか。
委員	図書館が、かなりの資料を持っているのですが、閲覧など活用できるように資料館に移管するなど一元化を考えたらどうでしょうか。公開されないことは問題があります。歴史的な資料は移管するとか、あるいは、図書館と協力して図書館で公開するなどしてほしいと思います。
教育部長	図書館は現在、教育委員会から離れて市長部局に補助執行されているのですが、ご指摘いただいたことについては今後検討していきたいと思っています。
委員長	ある事例を挙げると、香川県立図書館は香川県立歴史博物館、現在の香川県立ミュージアムができた時、資料は複製をとって、現物資料は博物館に移管して、複製を図書館で保存するという形をとりました。高松市の場合も同じで、高松市の図書館にあった資料は、高松市歴史資料館ができた時に移管されました。図書館の司書と資料館の学芸員では専門性が異なるので、やはり学芸員のいる機関に、資料は置いた方が活用できるので市民のためにもなります。 図書館が使用したい場合は複製をとって置いておけばよいと思います。丸亀市の場合は図書館にどの程度資料があるのでしょうか。

事務局	図書館と資料館は同じ組織でしたが、美術館ができたときに図書館は駅前に移動しました。移動の時に、資料については振り分けたと伺っており、主に近世までの資料については資料館が管理することになったようです。但し購入資料については、図書館の予算と資料館の予算で購入したものがああり、図書館費で購入した絵図や古地図などの資料は、図書館に持っていったようです。
委員	昔、資料館と図書館が一緒だったので、致し仕方がないところはあるますが、絵図や古地図は、専門の職員がいるところに置くべきです。
教育部長	一つ問題があるのですが、資料館の収蔵資料が現在約 3 万 9000 点となり、資料を保管する場所がなくこのギャラリーも半分保管庫になりました。受入れできるスペースの問題があります。 ただ、市民にとっては公開するということは良いことですので、移管はできなくても、資料館で公開できたら良いと考えています。
委員	いろいろ意見あり、資料館の建て替えの問題も含めて難しいところですね。
教育部長	資料館の建て替えにつきましては、同じ場所での建て替えはできず、できれば御殿を復元するとか、城外にもっていく案など、様々な案を思い描いているのですが、難しいところです。
委員	丸亀城に特化した資料館にしたらどうですか。
事務局	資料館には近世以前の古い資料が多くありますが、丸亀城に特化すれば、これらのものが展示できないのはどうかと思います。
委員長	こちらの館は、民俗資料や埋蔵文化財も多く所蔵していますよね。
委員	すぐにとはいいませんが、将来的な検討をお願いします。
事務局	わかりました。
委員長	それでは、議題第 4 号のその他について、何かありませんか。
事務局	事務局からお知らせがあります。昨年度は 12 月 14 日に、元学芸委員

	の遠藤先生から講演をいただき、学芸委員、運営協力委員の皆様を対象とした学習会を開催しました。 今年度は、先ほどお伝えした 11 月 12 日に開催する三浦正幸先生の歴史講演会を、学習会とさせていただきたいと考えております。学芸委員、運営協力委員のみなさまには、改めてご案内いたしますので、ぜひ研修の場としてご利用いただきたいと思います。
委員長	なかなか建築史の先生のお話を聴くことはないので、楽しみです。皆様ご参加よろしくおねがいします。他に何かありませんか。
事務局	最後になりましたが、1 件ご報告申し上げます。昨年の委員会において、飯山市民総合センターの別館から民俗資料約 600 点および、郷土玩具、書籍を移動の必要があるとお伝えしていましたが、令和 3 年度内にすべての移動が完了しましたのでご報告いたします。 農道具などの民俗資料は、ボートレース事業局が管理している富士見町の倉庫への移動が完了しました。郷土玩具と書籍は 2 階ギャラリーを改変して、半分を倉庫とし、収納を完了しました。 なおギャラリー機能につきましては、面積は半分程度になりましたが、残りのスペースを、展覧会や講演会活動にご利用いただけるようにしております。
委員長	何か他にご意見はありますか。意見はないようですので、これで議事を終わります。
事務局	それでは、本日の会議はこれで閉会といたします。委員の皆様、ありがとうございました。 なお、現在 1 階企画展示室で開館 50 周年記念企画展「資料館 50 年のあゆみ」を開催しております。この後、担当の林がご案内いたしますので、お時間の許す限りお楽しみください。 【展覧会鑑賞】